



## 株主の皆様へ

中期経営計画『Global Expansion 2018』に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

### ！売上高はメディカル事業およびデバイス事業が好調に推移し、大幅増収

2015年6月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、メディカル事業およびデバイス事業ともに引き続き好調に推移し、前年同期比28.8%増の16,958百万円となりました。

メディカル事業については、海外市場を中心に全地域で当社製品の需要が堅調であることに加え、欧米通貨高なども後押しとなり、大幅に増加しました。中でも、主力製品のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテルが、海外を中心として想定以上に好調に推移しております。

一方のデバイス事業も、トヨフレックス社の連結子会社化の効果も含めて自動車市場や建築市場向けなどの産業部材を中心に堅調に推移しております。



代表取締役社長 星野 昌彦

### ！利益は研究開発費や営業関係費用が増加したものの、売上好調に伴い大幅増益

営業利益は、研究開発費や直接販売への切替えなどに伴う営業関係費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、好調な売上高に比例し、前年同期比32.2%増の4,147百万円となりました。経常利益は、欧米通貨高の進行による為替差益の増加などにより、同39.1%増の4,543百万円となりました。

また、四半期純利益は、前連結累計期間においてトヨフレックスグループの連結子会社化に伴う負ののれん発生益の計上があったものの、同24.4%増の3,073百万円となりました。

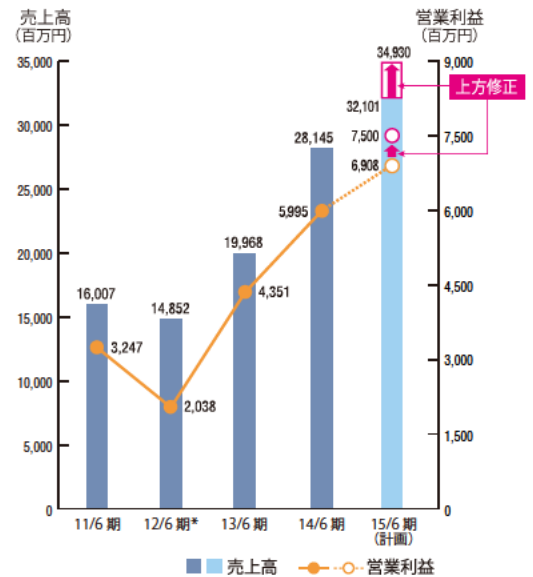
## 株主の皆様へ

### ！通期業績予想を上方修正、売上高、利益とも過去最高更新へ

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績が大変好調に推移し、かつ第3四半期連結会計期間以降も順調に推移することが見込まれることから、2014年8月12日に公表した業績予想を上方修正しております。第3四半期連結会計期間以降の売上高は、主力事業のメディカル事業が、国内外ともに当初予想以上に需要が高まることに加え、欧米通貨高なども後押しとなり、引き続き好調に推移する見通しであり、売上高、利益とも過去最高を更新すると予測しております。

一方、販売費及び一般管理費につきましては、第2四半期連結累計期間に発生予定であった取引が遅延し、第3四半期連結会計期間以降に発生する予定であることや、今後の成長に向けて研究開発や営業活動に係る費用を先行投資すること、為替の影響に伴い費用が増加することなどから当初予想を上回り、増加する見込みです。また、非連結子会社の株式譲渡の実施に伴い、子会社株式売却損失として約64百万円の特別損失が発生する見込みです。ただし、当初の想定以上に売上高が伸びることにより、これらの費用項目の増加を吸収するため、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても、当初予想をそれぞれ上回る見通しです。

なお、配当予想につきましては、現在のところ変更はありませんが、長期にわたり安定的な配当を継続して実施することを基本方針として、今期の最終連結業績、今後の業績見通しなどを総合的に判断して決定する予定です。



\*2012年6月期は、タイ洪水の影響を受け、主力のタイ工場が一時的に稼働を停止したため、減収減益となっております。

### ！成長戦略を着実に進めていくことで、企業価値の拡大を目指します

当社グループは、当連結会計年度からスタートした中期経営計画『Global Expansion 2018』において、2018年6月期に売上高400億円を達成することを目標に、「グローバル規模での収益基盤の強化」「患部・治療領域の拡大と製品ポートフォリオの拡充」「素材研究・生産技術の強化によるイノベーションの創出」「グループマネジメントの最適化」を経営戦略に掲げ、企業価値向上に取り組んでおります。

その実現に向けた施策として、当第2四半期連結累計期間においては、新製品として日本市場において貫通カテーテル「ASAHI Caravel(カラベル)」\*やペリフェラルガイドワイヤー「Gladius(グラディウス)」「Halberd(ハルバード)」「Gaia PV(ガイアピーブイ)」を販売開始したほか、初期製品設計試作対応のための米国開発拠点の新設、ボストン・サイエンティフィック社とのFFR測定用ガイドワイヤーおよびロータワイヤーに関する業務提携などを実現しております。

今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

2015年3月

\*「ASAHI Caravel」の概要については、右ページの「技術・製品紹介」をご覧ください。



「Gladius」



「Halberd」



「Gaia PV」

# TOPICS

## ■生産効率の向上を目的として、グループ全体の生産拠点の再編を実施

当社は「グループマネジメントの最適化」の一環として、非連結子会社であるTOYOFLEX (H.K.) CO., LIMITEDの全株式を、2015年6月30日付(予定)でAOCHUAN TECHNOLOGY(H.K.) LIMITED社(以下、「A・T社」)に譲渡することを決議しました。TOYOFLEX (H.K.) CO., LIMITEDは東洋精密工業(惠州)有限公司の親会社であり、本株式譲渡に伴い、東洋精密工業(惠州)有限公司の経営権もあわせてA・T社に移譲されることとなります。

東洋精密工業(惠州)有限公司は、主に自動車用ヒーターコントロールユニットや窓用バルンサー部品などの産業機器部材の加工工程を担う生産工場で、これらの工程を当社グループの連結子会社TOYOFLEX CEBU CORPORATION(セブ工場)に移管・集約することにより、生産効率が高まり、グループ全体での生産拠点の最適化に寄与するものと期待しております。

## ■東京営業所、朝日インテックJセールス株式会社本社、トヨフレックス株式会社本社を移転

東京営業所および連結子会社である朝日インテックJセールス株式会社本社は、東京都新宿区西新宿にあるビルの別階にて活動しておりましたが、今後双方の事業を拡大することや、朝日インテック株式会社の本社の一部機能をサテライト化することなどに備え、グループ経営の効率化を図り、グループのシナジーを高めるために、東京都港区の品川エリアに集約するよう移転を行いました。2015年2月16日にオフィスの移転が完了し、営業を開始しています。

また、連結子会社のトヨフレックス株式会社本社は、東京都府中市の自社ビルにて活動しておりましたが、本社建物の老朽化に加え、今後の事業拡大に備え、オフィス環境の整備を行い、業務の効率化を図ることを目的として、2015年1月5日に東京都新宿区西新宿に移転を行いました。

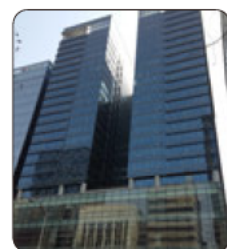


東京営業所および  
朝日インテックJセールス本社の  
新オフィスビル

## ■韓国に支店設立

今後さらなる市場成長が期待できる韓国において、当社は2015年1月に韓国支店を設立しました。主要商品の販売ネットワークの構築を図り、さらに販売を強化しながら、韓国において市場シェアの拡大を目指してまいります。

### 韓国支店(韓国：ソウル)



●2015年  
1月開設

### 中国工場(中国：惠州)



- 自動車用ヒーターコントロールユニットや窓用バルンサー部品の製造
- 従業員数：112名(2014年12月末)

### 生産工程の 移管・集約

中国工場の工程について  
全てセブ工場に移管

### セブ工場(フィリピン：セブ)



- 将来的には医療機器分野の生産も対応予定
- 医療機器分野対応の新工場を増設中



## 技術・製品紹介

### 新製品:貫通カテーテル「ASAHI Caravel(カラベル)」

当社は、研究開発型企業として、独自の設計と技術によりグローバル規模で競争力の高い製品群を拡充しております。今号では、2014年9月より販売を開始した貫通カテーテル「ASAHI Caravel」をご紹介します。

貫通カテーテルとは、冠動脈のPTCA\*治療において、PTCAガイドワイヤーが詰まった血管を通過する際に、PTCAガイドワイヤーの通過を補助するカテーテルです。

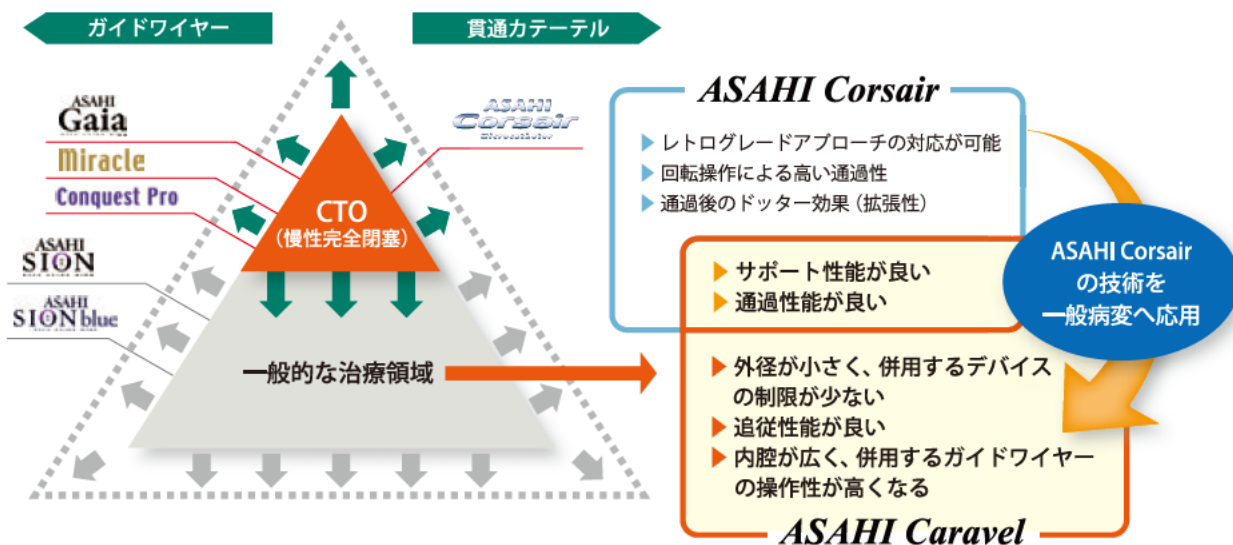
当社の貫通カテーテルには2010年1月より販売を開始した「ASAHI Corsair(コルセア)」があります。同カテーテルは冠動脈のPTCA治療の中でも、難易度が高く特殊な治療領域である慢性完全閉塞(CTO)\*\*の治療において、回転操作による高い通過性など独自の技術により高い優位性を保持しており、販売開始以来、国内外の各地で好調に売上が推移しております。

今回の新製品「ASAHI Caravel」は通過性能やサポート性能の高さに加え、併用するデバイスの制限を少なくするなど、汎用性の高いサポートカテーテルとして開発・製造しております。2014年秋に開催された日本最大の循環器カテーテル治療学会(CCT2014)でも、「ASAHI Corsair」と「ASAHI Caravel」が相互に補完し合うことで、より多くの症例に対応できることが報告されるなど、トップドクターから高い評価をいただいております。

特殊なCTO治療の領域だけでなく、より裾野が広い一般的な治療領域においても、当社はマーケットを拡大し、さらなるシェア拡大を目指していきます。

\* PTCA / 経皮的冠動脈形成術。PTCAはもっとも代表的な冠動脈狭窄の治療法であり、冠動脈にバルーンカテーテルを挿入し、バルーンを膨らませて狭窄部を広げる治療法です。

\*\*慢性完全閉塞(CTO:Chronic Total Occlusion) / 長期間完全に閉塞した状態の病変のこと。従来は、このような病変は外科手術(バイパス手術)の領域でしたが、当社がCTOにも使用可能なPTCAガイドワイヤーの開発に成功したことから、現在では、国内においてはPTCA治療(循環器系における低侵襲治療)が主流となっています。

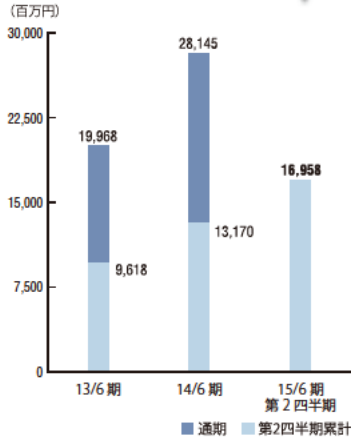


# 連結財務データ

## 売上高

売上高 前年同期比 **28.8%** 増

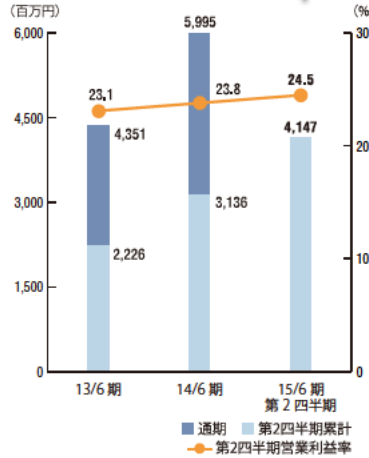
メディカル事業およびデバイス事業ともに引き続き好調に推移したことにより、増加しました。



## 営業利益/営業利益率

営業利益 同 **32.2%** 増

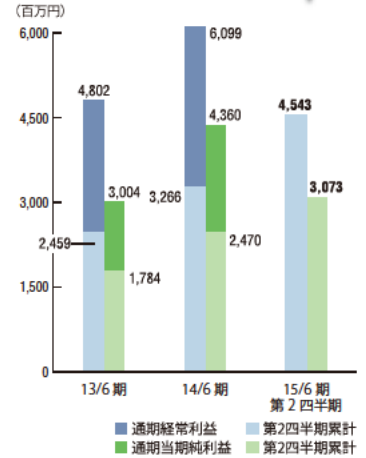
研究開発費や直接販売への切替えなどに伴う営業関係費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、好調な売上高に比例し、大幅増益となりました。



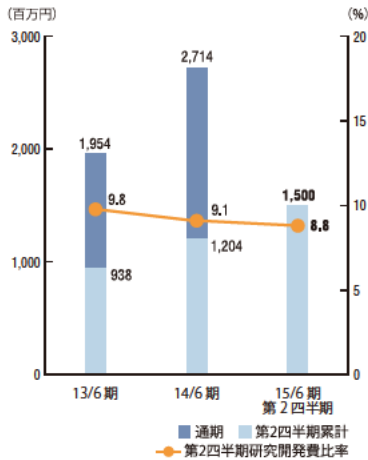
## 経常利益/四半期(当期)純利益

経常利益 同 **39.1%** 増 四半期純利益 同 **24.4%** 増

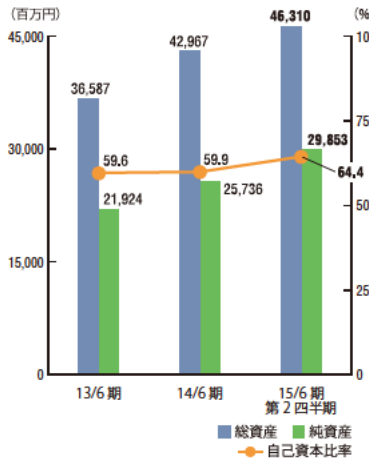
前連結累計期間において負ののれん発生益の計上があったものの、好調な売上高に比例し、かつ為替差益が増加したことなどにより、大幅に増加しました。



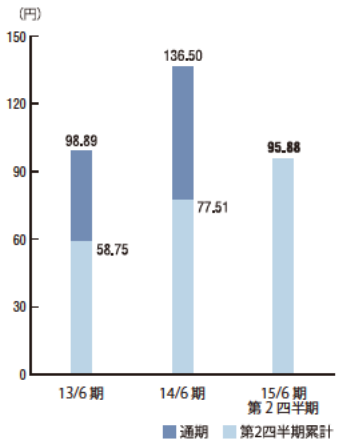
## 研究開発費/研究開発費比率



## 総資産/純資産/自己資本比率



## 1株当たり四半期(当期)純利益\*



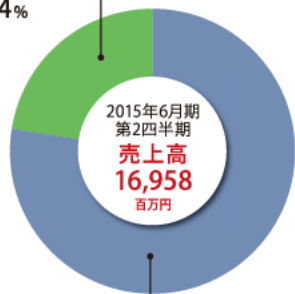
\*当社は、2014年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益を算定しています。

## セグメント別売上高

▶%は売上高構成比

3,796百万円

22.4%



13,161百万円  
77.6%

### ●メディカル事業

国内市場では、医療償還価格改定の影響があるものの、循環器系および非循環器系分野ともに売上高は増加しました。循環器系では、主力製品PTCAガイドワイヤーが引き続き好調であることや、PTCA/バルーンカテーテルやPTCAガイディングカテーテルの市場シェア拡大により、売上高は増加しました。また、非循環器系では末梢血管系製品が直接販売への切替えに伴う一時的な減少が影響したものの、腹部血管系や脳血管系の製品が好調に推移し、売上高は増加しました。

海外市場では、全地域で需要が増加したことや、欧米通貨高が後押しとなり、好調に推移しました。欧州・中近東市場ではPTCAガイドワイヤーの市場シェアが継続的に拡大、また米国市場や欧州・中近東市場および中国市場では貫通カテーテル「ASAHI Corsair」が大幅に増加するなど、それぞれ売上高が増加しました。

以上の結果、当事業の売上高は前年同期比24.1%増の131億61百万円となりました。

### ●デバイス事業

デバイス事業は、医療部材および産業部材の売上高がともに好調に推移しました。

医療部材におきましては、国内市場では内視鏡関連部材、海外市場では循環器関係の部材取引が増加し、売上高は増加しました。産業部材におきましては、国内外ともに、自動車市場や建築市場などの取引がトヨフレックス社の連結子会社化の効果を含めて増加し、売上高は増加しました。

以上の結果、当事業の売上高は前年同期比47.8%増の37億96百万円となりました。

## 会社概要 (2014年12月31日現在)

商号 朝日インテック株式会社 (ASAHI INTECC CO., LTD.)  
 設立 1976(昭和51)年7月8日  
 資本金 43億6,238万円  
 従業員数 連結 5,085名 / 単体 440名  
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第二部)  
 名古屋証券取引所(市場第二部)  
 主な事業内容 ①主に血管内治療に使用される低侵襲治療製品(ガイドワイヤー・カテーテル)の開発・製造・販売  
 ②医療機器分野および産業機器分野の部材等の開発・製造・販売

## 役員 (2014年12月31日現在)

代表取締役会長 ..... 宮田 尚彦  
 代表取締役社長 ..... 宮田 昌彦  
 専務取締役 ..... 竹内 謙武  
 常務取締役 ..... 福井 芳彦  
 常務取締役 ..... 宮田 憲次  
 常務取締役 ..... 加藤 忠和  
 取締役 ..... 湯川 一平  
 取締役 ..... 寺井 芳徳  
 取締役 ..... 伊藤 清道<sup>\*1</sup>  
 取締役 ..... 伊藤 公昭<sup>\*1</sup>  
 常勤監査役 ..... 渡辺 行祥  
 監査役 ..... 佐藤 昌巳<sup>\*2</sup>  
 監査役 ..... 大林 敏治<sup>\*2</sup>

\*1 取締役伊藤清道、伊藤公昭は、社外取締役であります。  
 \*2 監査役佐藤昌巳、大林敏治は、社外監査役であります。

## 事業所 (2014年12月31日現在)

### 国内事業所

営業拠点 東京 ..... 東京都新宿区  
 名古屋 ..... 愛知県名古屋市  
 大阪 ..... 大阪府和泉市  
 メディカル事業部 瀬戸工場 ..... 愛知県瀬戸市  
 デバイス事業部 大阪R&Dセンター ..... 大阪府和泉市  
 ジーマ事業部 ジーマ研究センター ..... 静岡県袋井市

### 海外事業所

EU支店 ..... オランダアムステルダム  
 中東支店 ..... アラブ首長国連邦ドバイ  
 シンガポール支店 ..... シンガポール ビシヤン地区  
 香港支店 ..... 中国 香港  
 インド支店 ..... インド共和国 ハリヤナ州  
 北京駐在所 ..... 中国 北京市

### 連結子会社

ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD. .... タイバトゥムタニ県  
 ASAHI INTECC HANOI CO., LTD. .... ベトナム ハノイ市  
 ASAHI INTECC USA, INC. .... アメリカ合衆国 カリフォルニア州  
 朝日英達科貿(北京)有限公司 ..... 中国 北京市  
 朝日インテックJセールス株式会社 ..... 東京都新宿区  
 フィルメック株式会社 ..... 愛知県名古屋市  
 トヨフレックス株式会社 ..... 東京都府中市  
 TOYOFLEX CEBU CORPORATION ..... フィリピン セブ州

## 株式情報 (2014年12月31日現在)

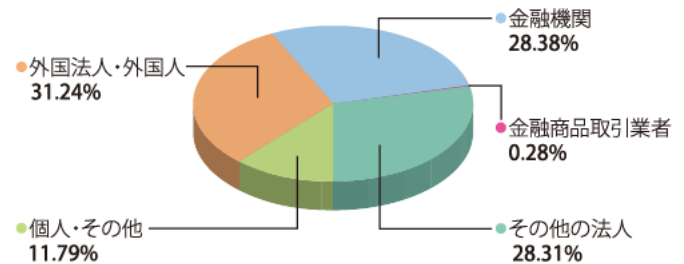
発行可能株式総数 100,000,000株  
 発行済株式の総数 32,060,400株(自己株式661株を含む)  
 株主数 2,623名

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
アイシーエスピー(有)	3,000,000	9.36
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,569,900	8.02
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,869,400	5.83
MMK(株)	1,546,000	4.82
(株)ハイレックスコーポレーション	1,200,000	3.74
ピーエヌピー パリバ セック サービス ルクセンブルグ ジャスデック アパティーン グローバル クライアント アセット	913,500	2.85
JFK(株)	898,000	2.80
宮田昌彦	843,100	2.63
(株)ホギメディカル	791,600	2.47
宮田憲次	789,100	2.46

(注) 持株比率は、自己株式(661株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで  
 定時株主総会 毎年9月  
 期末配当金受領株主確定日 6月30日  
 中間配当金受領株主確定日 12月31日  
 公告方法 当社ホームページ  
<http://www.asahi-intecc.co.jp/> に掲載します。  
 但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。